第2章　平成28年度山口大学構内遺跡の調査

第1節　平成28年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市（吉田・白石構内）、宇部市（小串・常盤構内）、光市（光構内）の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概観すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡であり、官衙遺跡としても著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物を包含する山口大学医学部構内遺跡内・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡と月待山遺跡にまたがり立地している。

このような環境のもと、山口大学埋蔵文化財資料館は山口大学構内に埋存する貴重な埋蔵文化財の保護・調査・研究・活用する施設として昭和52年(1977)に竣工し、昭和54年(1979)に教職員が配置されて以降、その重責を担い続けている。当館の平成28年度時の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が立案・計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画を確認した後、文化財保護法の諸手続のもと、山口大学各構内が所在する地方公共団体（山口県および各市）の指導により、埋蔵文化財保護の観点から本発掘・予備発掘・立会の3種の方法で厳密に調査を行っている。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設（職員宿舎等）敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して、できる限り工事掘削時に資料館員が確認調査を行っている。これらの調査に対する平成28年度の当館の教職員配置は、専任教員3名、教務補佐員1名、技術補佐員1名であった。

上記の調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく、工事計画、工法の変更等で現状保存が可能であるかどうか厳格な協議を行い、保存方法を選定している。また、調査成果については、地方公共団体への報告後、内業整理等を経て可能な限り迅速に発掘調査概報（年報）を刊行している。

上記の調査体制のもと、平成28年度に当館が実施した大学構内における埋蔵文化財調査は、表3のとおり、本発掘調査1件（予備発掘調査から本発掘調査に移行）、立会調査8件の計9件であった。

表3　平成28年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積（㎡）	調査期間	本書掲載頁
本発掘	実習棟（動物病理解剖施設）新営その他工事	吉田	Q・R-19	491	7月20日～10月19日	12-145
立会	実習棟（動物病理解剖施設）新営その他工事	吉田	Q・R-18・19	233	11月1日～1月23日	146-149
	総合研究棟（国際総合科学部）改修工事	吉田	H－18	160	7月20・26日	150
	農学部果樹園排水工事	吉田	O－15	9	11月1日	151-153
	人文学部駐輪場屋根新設工事	吉田	M－20	26	3月14日	154
	共通教育棟周辺駐輪場整備工事	吉田	J・K・L-16　J・L-17	53	9月2・3・8日 10月19日　11月7日	155
	教育学部附属山口小学校雨水管改修工事	白石		24	12月21日～1月5日	156-159
	基幹・環境整備及び診療棟・病棟新営工事（自家発電設備工事）	小串		100	1月17～20日	160-163
	教育学部附属光小学校バスケットゴール設置工事	光		4	1月14日	164

吉田構内（本部、人文・教育・経済・理・農の各学部：山口市吉田1677-1、教育学部附属特別支援学校：同吉田3003所在）

例年どおり、平成28年度の埋蔵文化財調査も吉田構内に集中し、その件数は本発掘調査1件、立会調査5件を数える。

昨年度同様、当該年度は共同獣医学部が欧州獣医学教育国際認証を取得するために必要な施設拡充が計画されたことから、引き続き吉田構内南東部、動物医療センター周域で開発工事が計画された。実習棟（動物病理解剖施設※現：総合病性鑑定研究施設）新営工事については、周囲の既往調査の成果から古代官衙に関連する遺構や遺物が地下に埋存することが明白であったため、予備発掘調査終了後の埋蔵文化財資料館専門委員会審議時に計画地の変更を強く働きかけたが、本学の教育研究面での利便性が優先させるという本学執行部の判断から、本発掘調査を実施した上で記録保存する運びとなった。調査の結果、古代の遺物を多量に含む埋没谷（既往調査における谷埋土下層）と包含層（既往調査における谷埋土上層）が確認され、円面硯や製塩土器、鞴羽口など、古代官衙に関連する遺物が

写真14 吉田構内航空写真（南東から）

写真15 白石構内（教育学部附属山口幼稚園・小学校）
航空写真（東から）

写真16 白石構内（教育学部附属山口中学校）
航空写真（南から）

図１ 山口大学吉田・白石構内位置図

多量に出土したほか、主に北区西部（農学部解剖実習棟側）にピット等の遺構を多数検出した。

農学部果樹園排水工事は、構内中央部西側に立地する第2学生食堂西側で計画された。第2学生食堂敷地および西に隣接する大学会館前庭部（遺跡保存地区）では、既往の調査成果により、主として弥生時代および古墳時代の集落跡や、古代の大溝が分布することが明らかとなっている。工事に対しては立会調査にて対応したが、耕土直下に遺構面が確認され、竪穴式住居の可能性のある大型遺構など複数の遺構が検出されたため、関係各位と協議をおこない、工法変更（盛土）により遺構群を保護することとなった。

白石構内（教育学部附属山口幼稚園：山口市白石三丁目1-2、同山口小学校：白石三丁目1-1、同山口中学校：白石一丁目9-1所在）

立会調査1件を実施した。教育学部附属山口小学校雨水管改修は掘削深度の深い工事であり、既往の調査成果から、埋蔵文化財に支障が生じることは明白であったが、工事規模が狭小であったことから、本発掘調査同等の精度で調査を実施することを条件に、工事立会対応とした。調査の結果、遺物包含層下に、密ではないものの土壙、ピット、流路を確認した。

小串構内（医学部、同付属病院：宇部市南小串1丁目1-1）

立会調査1件を実施した。基幹・環境整備及び診療棟・病棟新営工事（自家発電設備工事）は、掘削面積および深度から発掘調査対応が必要な事案であったが、診療棟・病棟本体工事の遅延のため十分な調査期間が確保できない状況にあったため、やむなく白石構内と同様に、本発掘調査同等の精度にて調査を実施することを条件に、工事立会対応とした。調査の結果、旧海底面（汽水域貝堆積層）にて弥生土器と石錘を確認した。

常盤構内（工学部：宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舎：同上野中町2658-3所在）

平成28年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

光構内（教育学部附属光小学校、同光中学校：光市室積8丁目4番1号）

立会調査1件を実施したが、埋蔵文化財に支障は生じなかった。

図2 小串・常盤構内位置図

写真17 小串構内航空写真（南東から）

写真18 常盤構内航空写真（南から）

写真19 光構内航空写真（北東から）

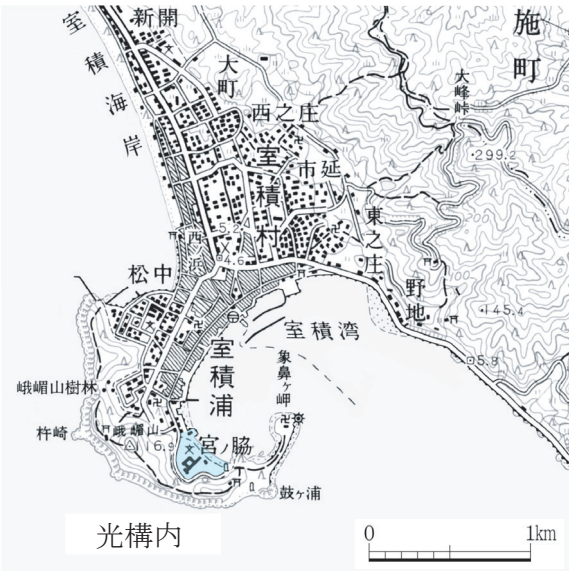

図3 光構内位置図